



# 2004年3月期 決算説明会

2004年5月27日

**コムシスホールディングス株式会社**

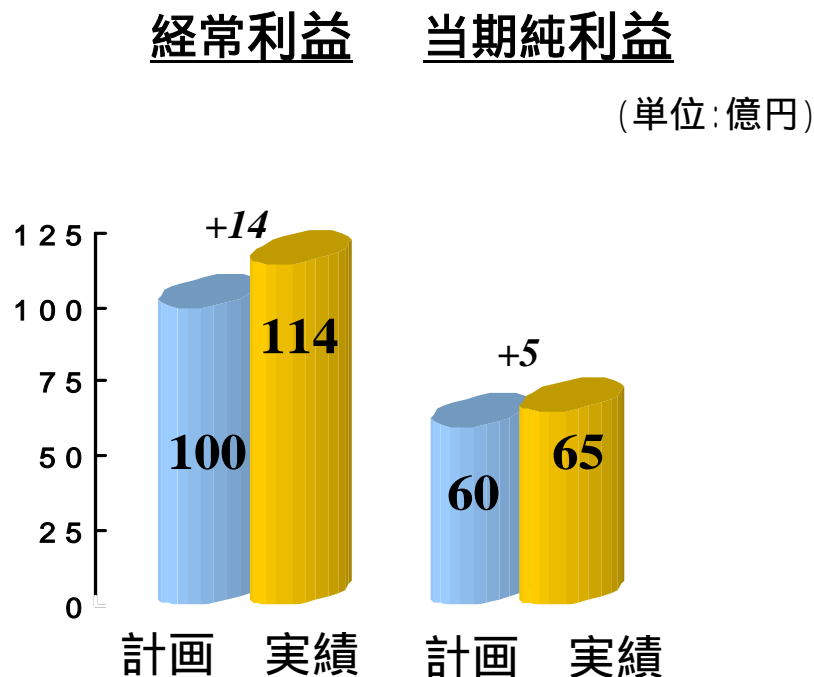
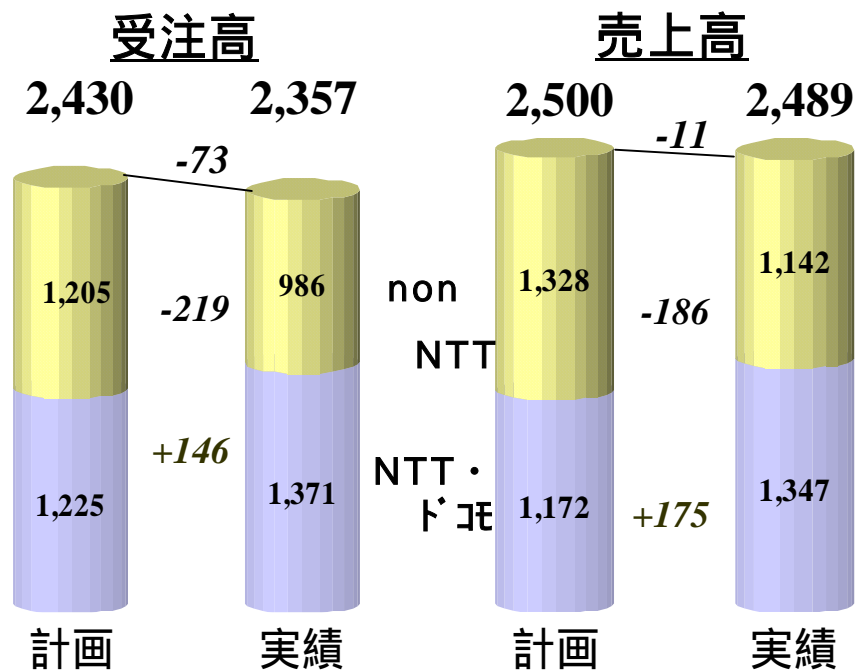


# 2004年3月期 連結決算概要 〔第1期〕

**コムシスホールディングス株式会社**

# 1. コムシスホールディングス 連結業績 (対計画比)

計画対比で受注高は苦戦・売上高はほぼ計画達成・利益は増益



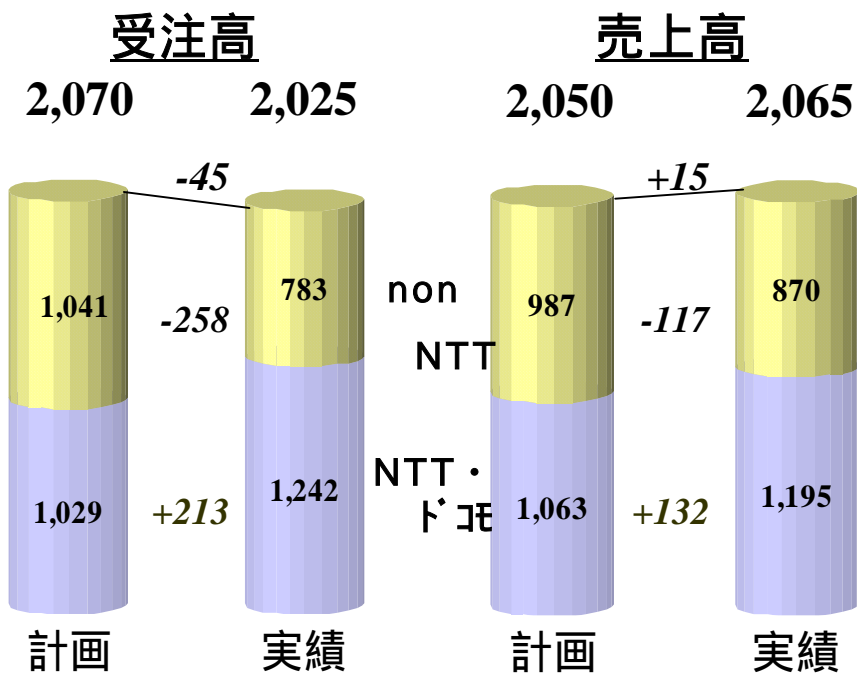
NTTはBフレッツ関連工事が好調、ドコモはFOMA関連工事が好調で受注高・売上高とも計画達成。  
 nonNTTは官公庁・一般企業が苦戦で受注高・売上高とも計画未達成。

外注費の適正化、工事材料の集中購買、人件費の削減及びグループウェア導入による支払金利削減等により売上原価率を対計画比の0.7ポイント圧縮(計画89.1% 実績88.4%)したため、経常利益では14億円・当期純利益では5億円対計画プラス。

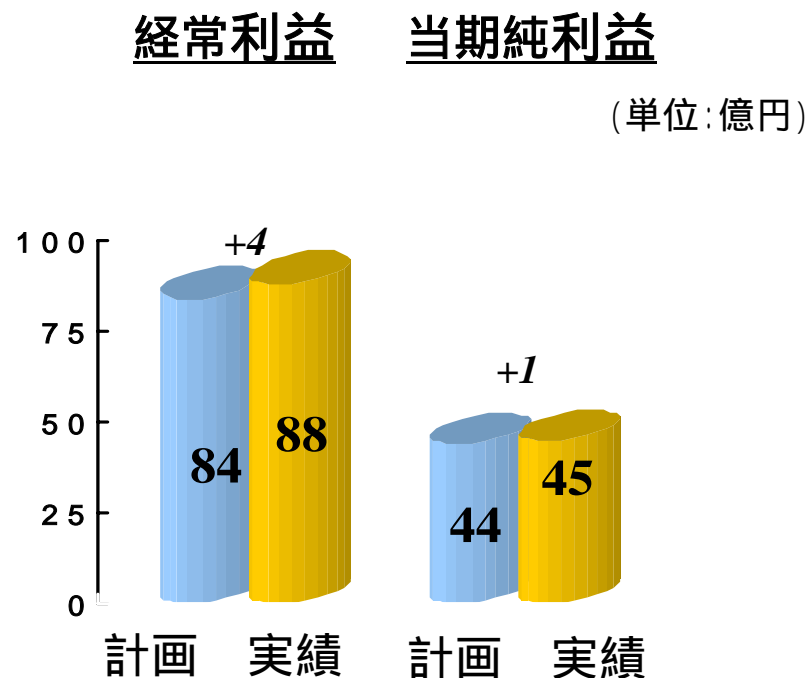
(注) コムシス-Gは通期、三和-G及びTOSYS-Gは下期

## 2. 連結業績（対計画比） - コムシス 連結 通期 -

計画対比で増収（15億円）・増益（経常4億円・当期1億円）



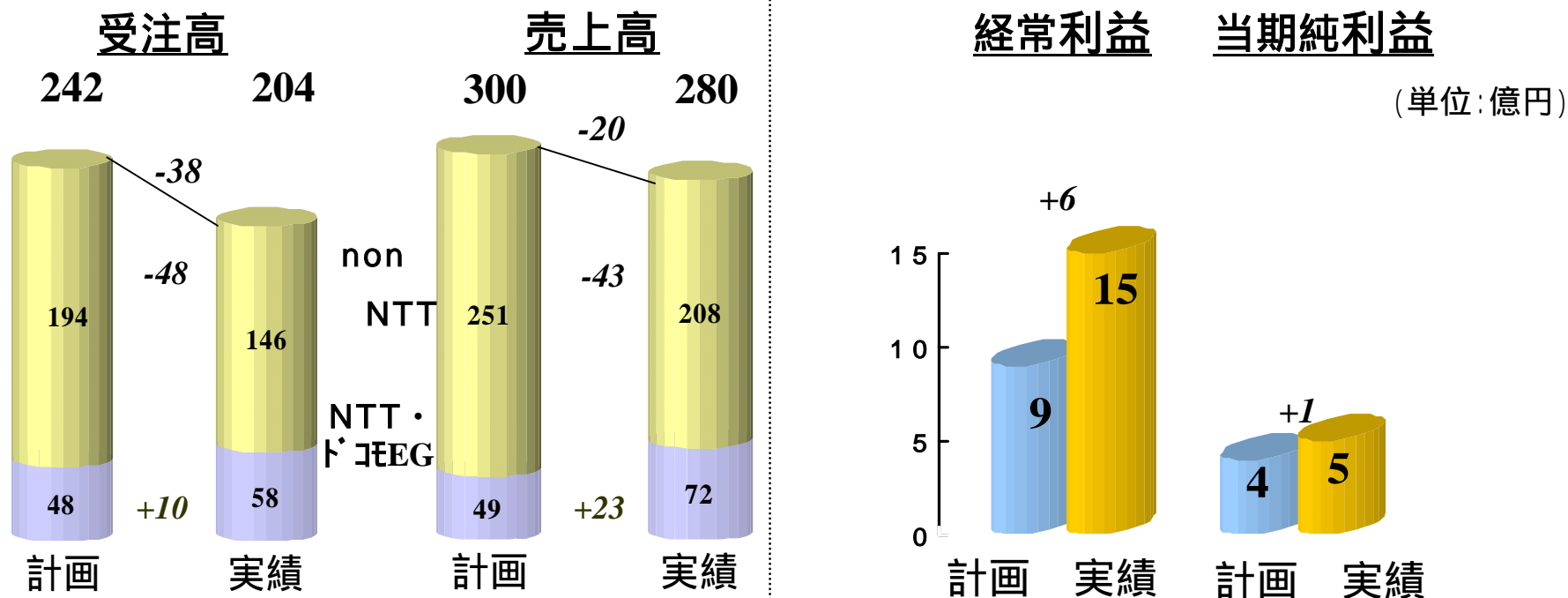
NTT・ドコモの増でnonNTTの減を加へ。  
NTTはBルツを中心とした線路工事が好調。



売上原価率は0.5ポイント減(計画.89.0% 実績88.5%)  
により、経常利益は4億円オーバー。  
有価証券等の評価損が圧迫要因となり、当期純利益は1億円の計画オーバー。

### 3 . 連結業績（対計画比） - 三和 連結 下期 -

計画対比で減収（20億円）・増益（経常6億円・当期1億円）

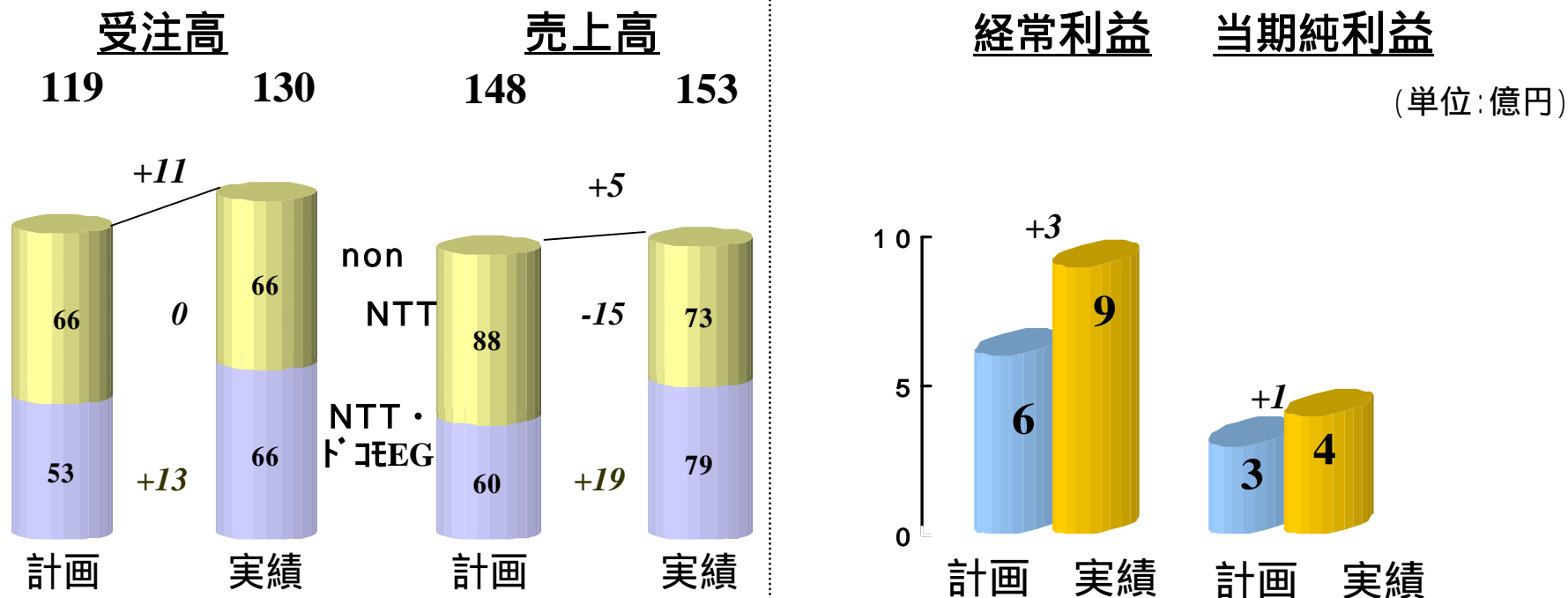


NTT・ドコモは計画オーバーであったが、電設・航空が苦戦で、nonNTTの大幅減により全体では計画値の未達成。

希望退職及び定年年令短縮に伴う人件費が計画より削減され、売上原価率は1.7ポイント減(計画90.7% 実績89.0%)、及びグループファイナンスによる支払金利の削減。これにより、経常利益を6億円オーバー。

## 4 . 連結業績（対計画比） - TOSYS 連結 下期 -

計画対比で増収（5億円）・増益（経常3億円・当期1億円）

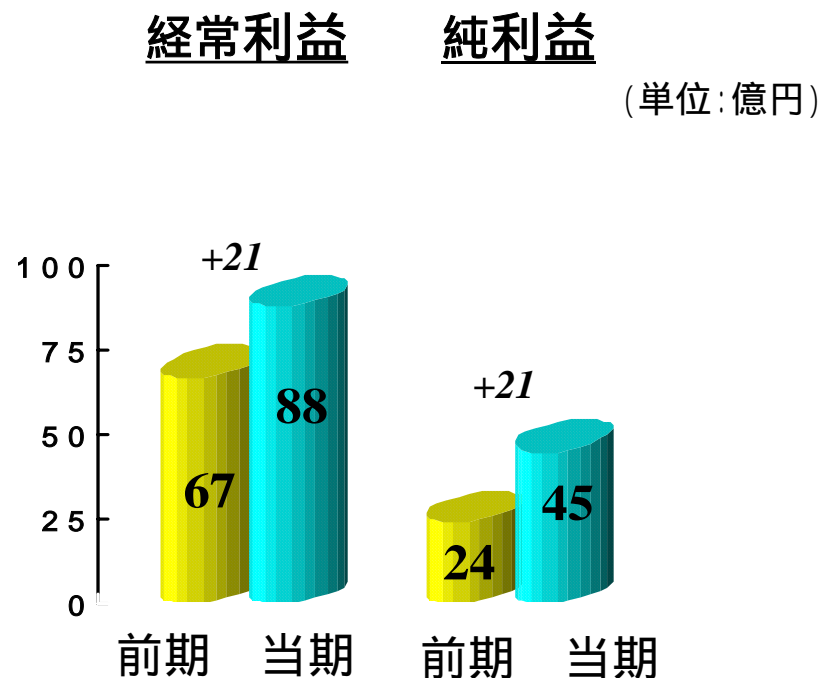
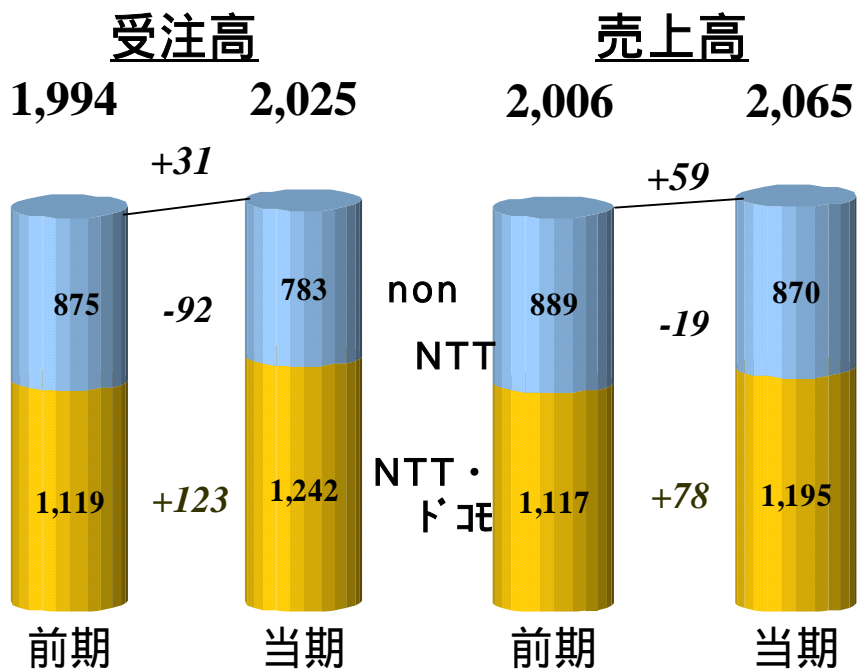


Bフレッツを中心とした所外系が好調で、NTTで大幅に計画オーバー。

売上総利益は計画通り(20億円)であったものの経費の削減により、経常利益は3億円計画オーバー。

## 5 . コムシス 連結業績 (対前期比)

対前期比で増収 (59億円) ・ 増益 (経常21億円 ・ 純利益21億円)



受注高・売上高とも対前期比で、NTT・ドコモ共に増加。

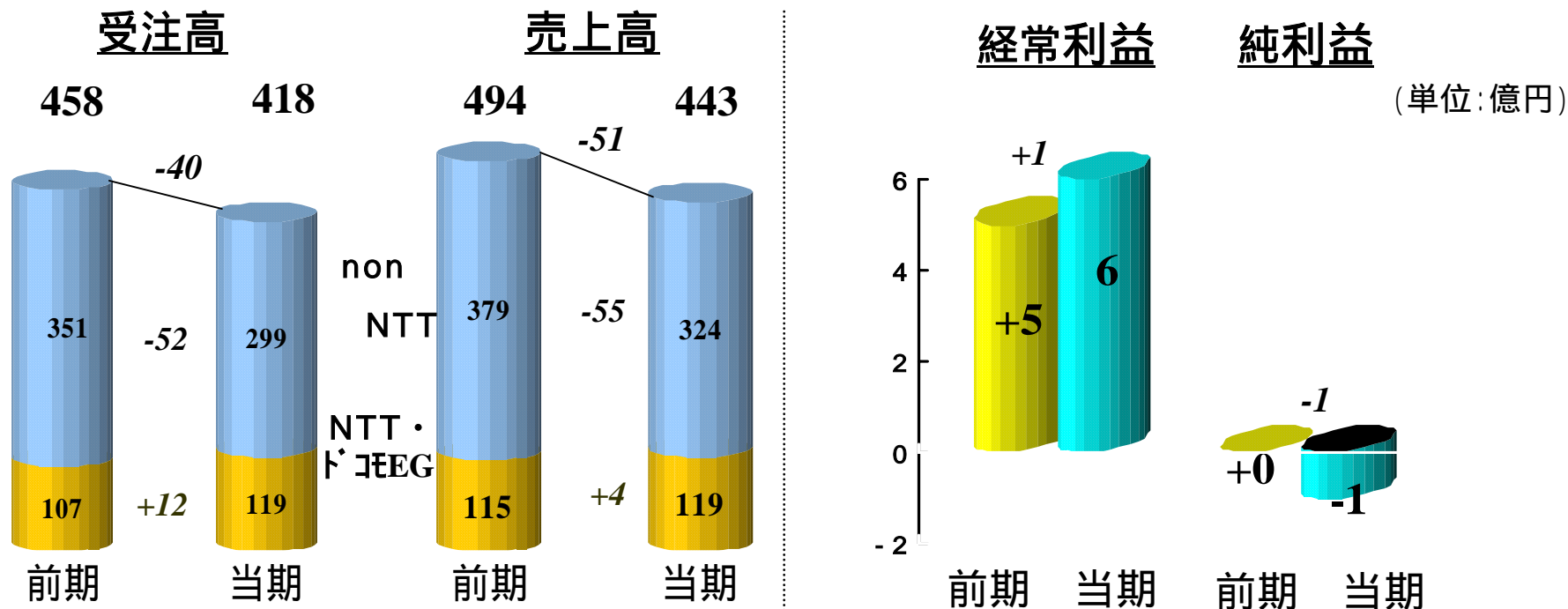
nonNTTでは、官公庁・一般企業が苦戦でともに減少。

前期実施した希望退職による人件費の減、外注費見直し等により、売上原価は0.6ポイント(89.1%→88.5%)改善及び東京通建・日東通建の株式取得益により経常利益は21億円の増。

前期に特別退職一時金が発生したが、今期は発生せず、当期純利益も21億円の増。

## 6 . 三和 連結業績 (対前期比 (通期比較))

対前期比で減収 (51億円) ・ 経常利益は増益1億円 ・ 純利益はマイナス1億円



NTT・ドコモはほぼ前期並み。  
nonNTTは電設で大幅減収。

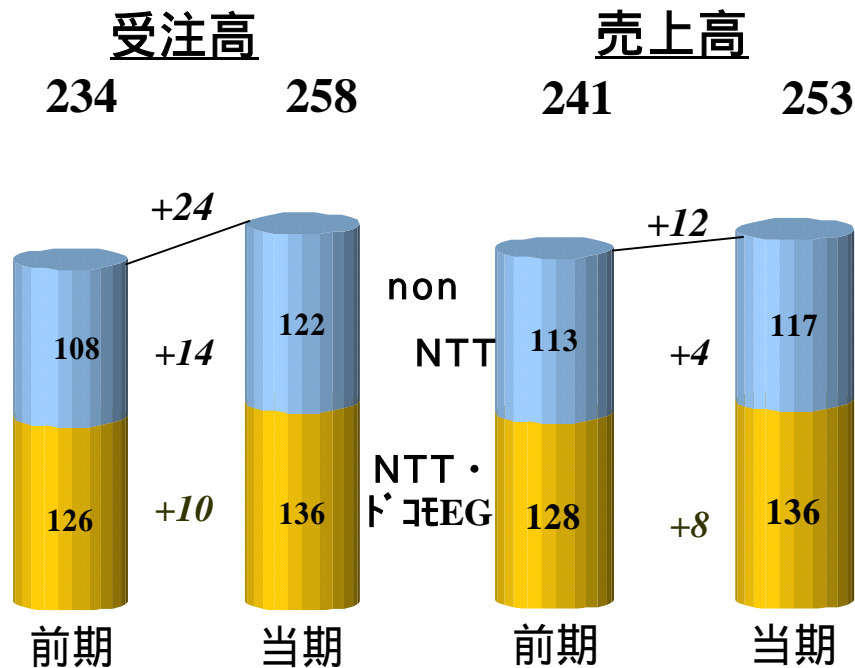
前期実施した希望退職・賃金カットによる人件費の削減及び有利子負債の削減等により経常利益は1億円の増益。

子会社支援損・営業債権損等があり、当期純利益は1億円の減益。

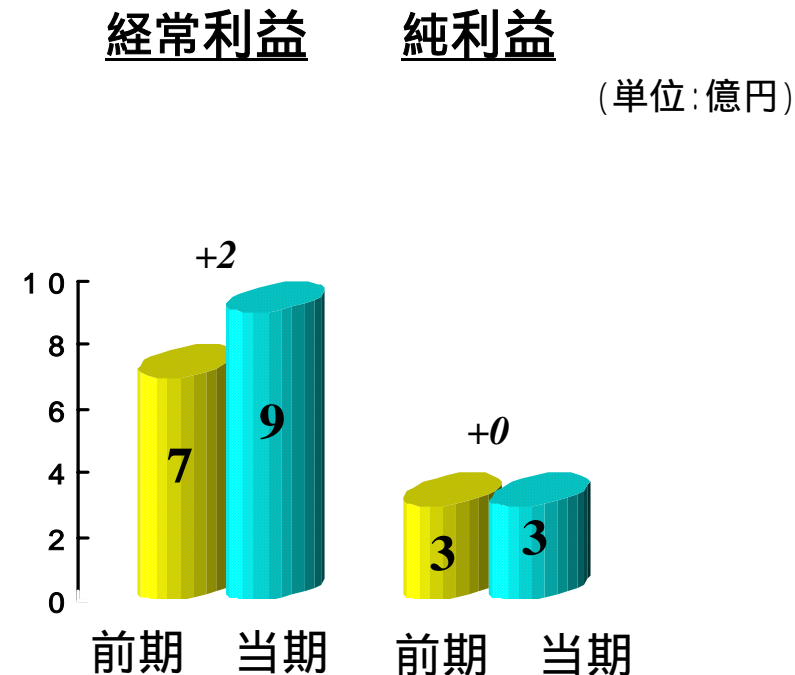


## 7. TOSYS 連結業績（対前期比（通期比較））

対前期比で増収（12億円）・増益（経常利益2億円・純利益は横ばい）



Bフレツを中心とした所外系の好調に加え nonNTTも好調(特にソリューション)。



材料費及び外注費の見直しによる売上原価率は0.6ポイント(前期87.8% 当期87.2%)減。これにより、経常利益は2億円の増益。当期純利益は横ばい。

## 8 . 連結貸借対照表 ( 1 6 年 3 月 3 1 日現在 )

資産:2,117億円、自己資本比率:約60%、有利子負債:114億円

(単位:億円)

### 資産の部

流動資産 1,422

- ・現金預金等 334
- ・完成工事未収入金 805
- ・未成工事支出金 234

固定資産 694

- ・有形固定資産 506
- ・無形固定資産等 187

### 負債の部

流動負債 671

- ・工事未払金等 573
- ・短期借入金 60

固定負債 217

- ・退職給付引当金 62
- ・連結調整勘定 70
- ・長期借入金 41

少数株主持分 14

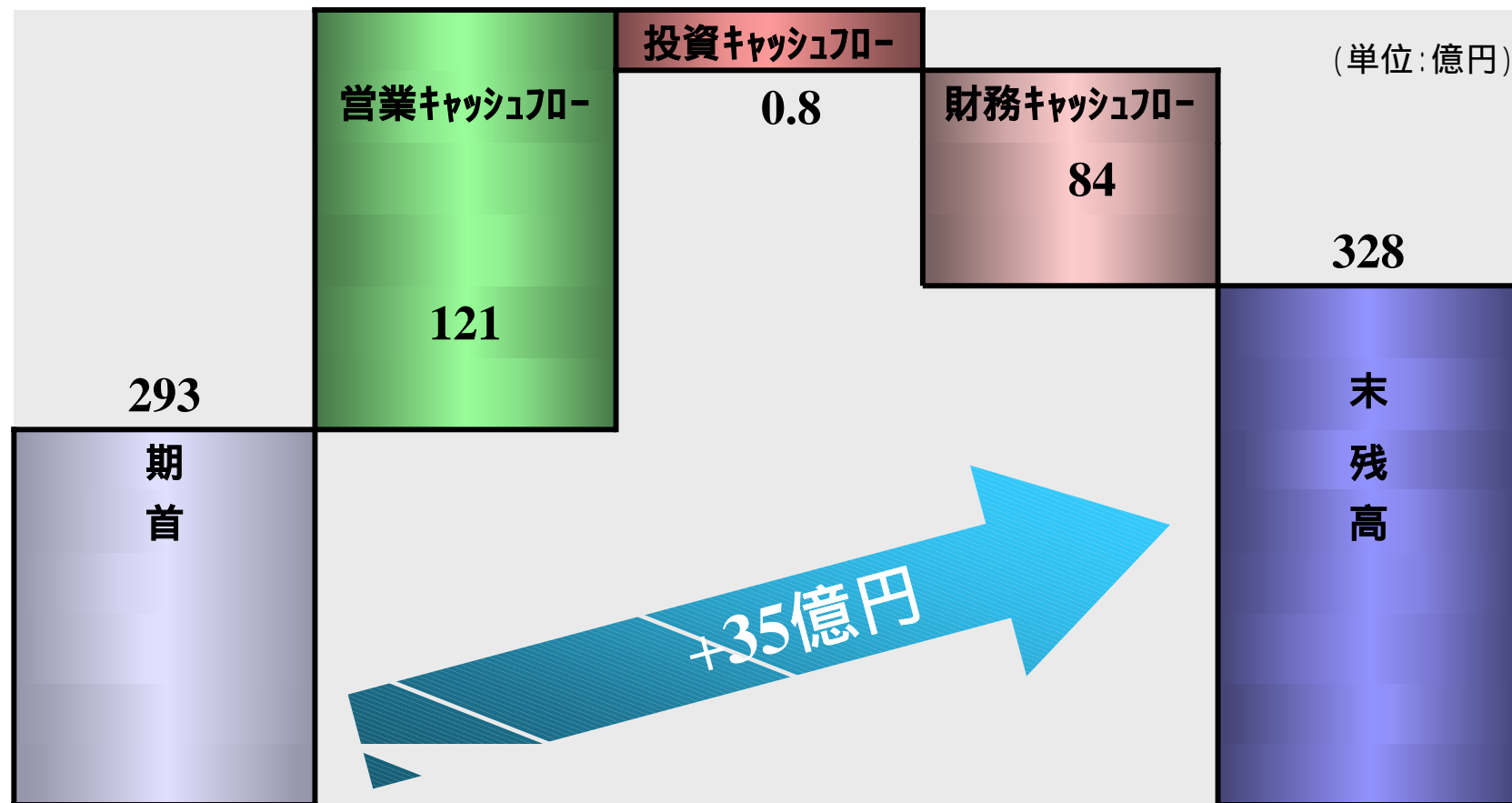
### 資本の部

資本金等 1,213

- ・資本金 100
- ・剰余金等 1,113

## 9. 連結キャッシュフロー

営業キャッシュフローは大幅増、借入金の返済も進み35億円の現金増  
 期末残高は328億円





# 2005年3月期 事業計画概要 〔第2期〕

**コムシスホールディングス株式会社**

# 1 . 2005年3月期事業計画

## ( 1 ) コムシスホールディングス連結

( 単位 : 億円 )

	2005.3期 ( 第 2 期 ) 計画値	中期経営計画値		( 参考 ) 2004.3期 単純合算値	
			対中計		対前期
受 注 高	2,750	-	-	2,703	47
売 上 高	2,800	2,800	0	2,761	39
営業利益(率)	110 (3.9%)	108 (3.9%)	2	98 (3.5%)	12
経常利益(率)	120 (4.3%)	112 (4.0%)	8	104 (3.8%)	16
当期利益(率)	67 (2.4%)	55 (2.0%)	12	47 (1.7%)	20
ROA	5.7%	5.3%	0.4%	4.9%	0.8%
ROE	5.5%	4.5%	1.0%	3.9%	1.6%

( 注 ) 2004.3期参考値は比較の為の、通期ベースの3社単純合算値

## ( 2 ) コムシスホールディングス単独

( 単位 : 億円 )

	2005.3期(第2期)	2004.3期(第1期)	対前期
	計画値	実績値	
受 注 高	-	-	-
売 上 高	22	23	1
営 業 利 益	17	20	3
経 常 利 益	17	19	2
当 期 利 益	17	18	1

注 1 ) 上記数値は、C H D連結ベースには相殺取引となる。

注 2 ) 第1期実績値は、C H D設置に伴う特別経費を含む。






### ( 3 ) 統括事業会社内訳

( 単位 : 億円 )










	日本コムシスG		三和G		TOSYS G	
	計画値	対前期	計画値	対前期	計画値	対前期
受 注 高	2,030	5	465	47	255	3
売 上 高	2,080	15	465	22	255	2
営業利益(率)	92 (4.5%)	13	10 (2.2%)	1	8 (3.1%)	1
経常利益(率)	105 (5.2%)	17	7 (1.5%)	1	8 (3.1%)	1
当期利益(率)	60 (3.0%)	15	2 (0.4%)	3	5 (2.0%)	2
ROA	5.9%	1.0%	2.5%	0.4%	5.3%	0.7%
ROE	5.1%	1.3%	6.1%	9.1%	6.9%	2.8%

## 2 . 主要事業別戦略



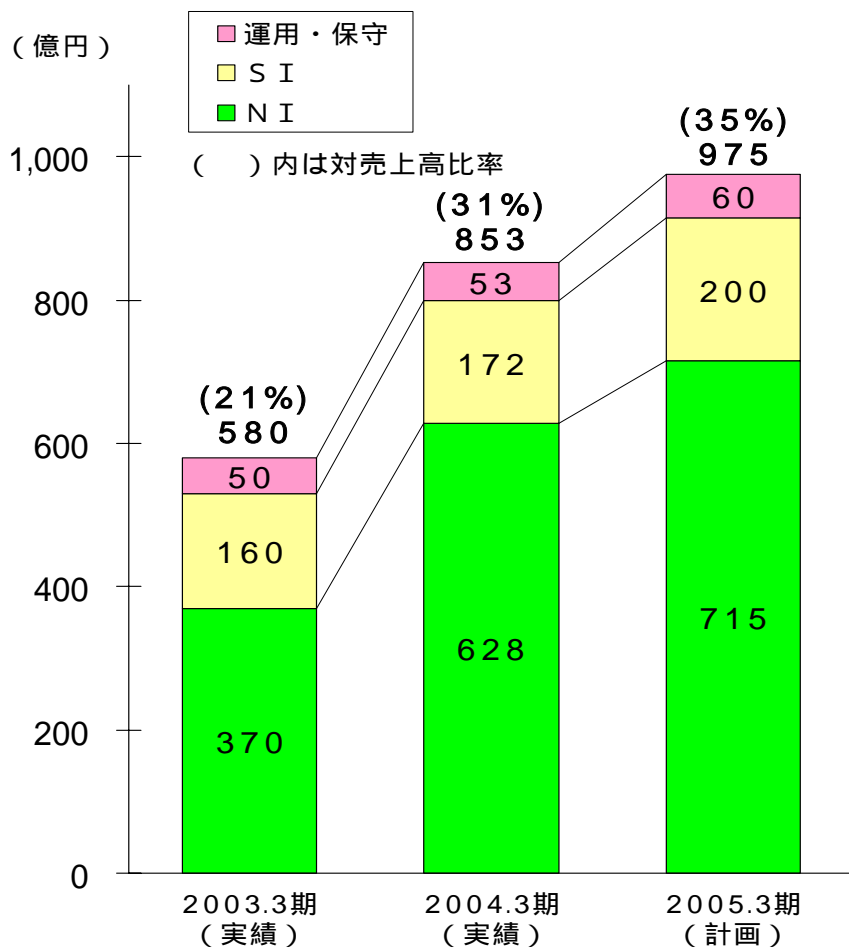
事業内容	戦略		売上高	営業利益
N T T 事業	B フレッツ工事への即決体制の確立 NWの I P 化への対応 ( I P 技術者の育成 ) 仕事の領域の拡大 施工コストダウンの推進 既存技術のための継承者の確保			
ドコモ事業	仕事の領域の拡大 施工コストダウンの推進 I P 技術者・次世代携帯コア技術者の育成			



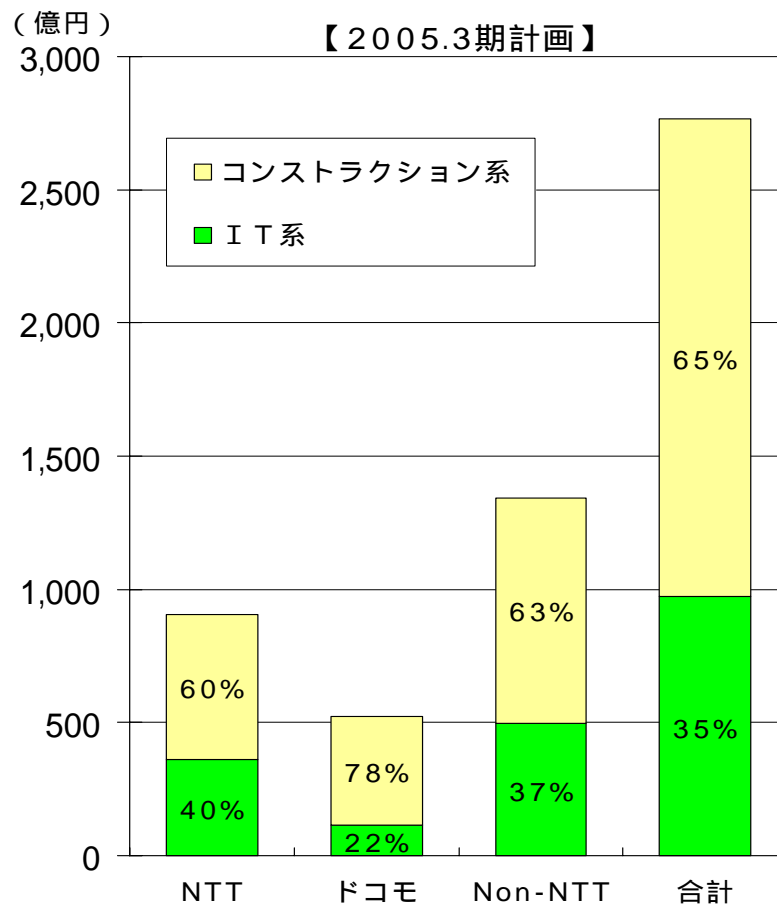
事業内容	戦略	市場規模	売上高	営業利益
NCC事業	全国施工・オンサイト保守体制の確立 コスト競争力と品質管理の強化 IP技術者の確保			
IT・情報事業	IT関連（人材、設備等）への積極的な投資 システムメンテナンス事業の強化 コンサル事業の強化 コムシスブランド商品の開発（商品オーナー制） スキルアップ（M&A・アライアンス、人材育成、有スキル者の確保）			
電設事業 （官公庁含む）	パートナ - 戦略の強化（M&A・アライアンス） コスト競争力の強化 監理技術者等有資格者の確保			

### 3. IT関連ビジネスの売上高

(1) 事業領域別比率の推移



(2) 事業別比率

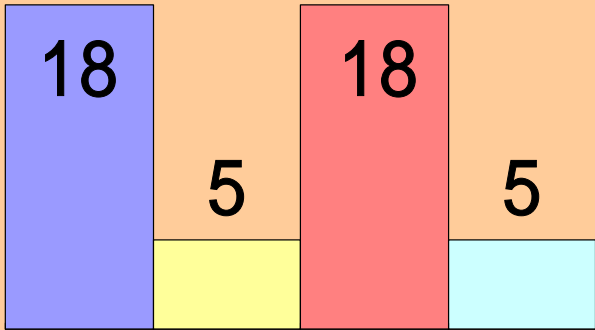


2006.3期には、売上高比 40% のIT化を達成

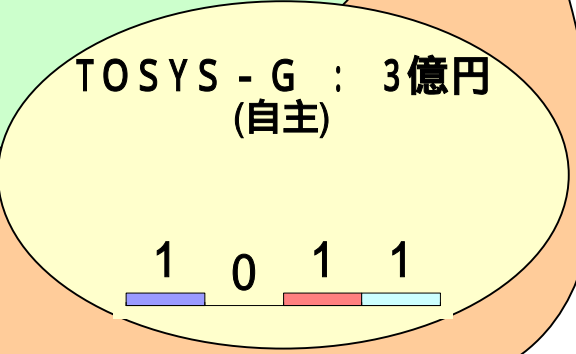
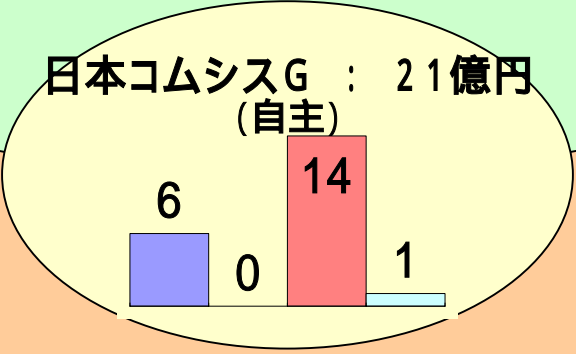
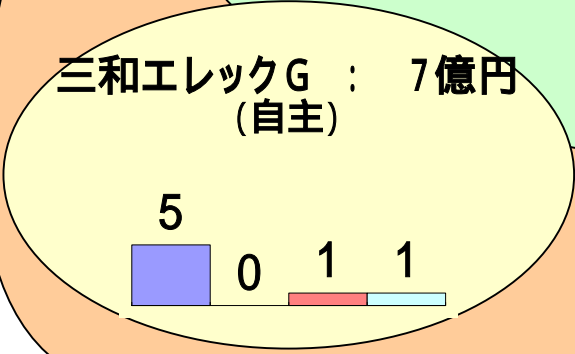
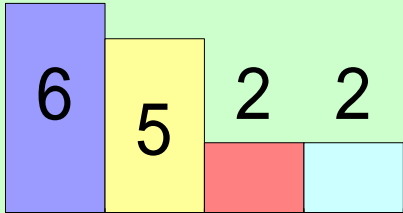
# 4 . 経営改善施策 ( 2005年3月期分 )

コムシスHD 46億円

- 凡例 :
- = 要員の適正化
  - = 材料費の低減
  - = 外注費の適正化
  - = 経費の削減



経営統合 : 15億円



## 5 . 業容拡大施策 ( 2005年3月期分 )

コムシスHD 30億円

競争力強化コスト  
12億円

新規案件等の戦略的受注

営業力強化

システムの導入

投資費用 18億円

IT関連設備投資  
検証ラボルームの設置等

IT関連人材投資

商品・技術開発

M&A、アライアンス等



# グループ経営の事業運営方針等

コムシスホールディングス株式会社



COMSYS.HD

## ・第一期の評価

## 2004年3月期の決算総括

### 連結決算での評価

売上は、計画を達成  
 経常利益は、計画に対し 14% の増

### 純粋持株会社方式での評価

3社通期単純合算値での対前期比較は増収増益

(単位：億円)

	(参考) 2003.3期 単純合算値( )	(参考) 2004.3期 単純合算値( )	(単位：億円)	
			増減値	増減率
受 注 高	2,687	2,703	16	0.6%
売 上 高	2,741	2,761	20	0.7%
営業利益(率)	80 (2.9%)	98 (3.5%)	18	18.4%
経常利益(率)	80 (2.9%)	104 (3.8%)	24	23.1%
当期利益(率)	28 (1.0%)	47 (1.7%)	19	40.4%

(注) 2003.3期および2004.3期の参考値は、比較の為の3社通期ベースの単純合算値

# 純粹持株会社の具体的成果

---

## ( 1 ) 財務体質の強化

- ( ) 連結において時価会計等新会計制度への早期対応
- ( ) グループファイナンスの導入による有利子負債の削減
- ( ) 事業会社に対する資本政策（100%化）の拡大

## ( 2 ) リソースの最適再配分によるシナジー効果の創出

- ( ) 首都圏及び信越の事業再編スキームの決定
- ( ) 事業会社との効率的役割分担と集中購買の拡大
- ( ) コムシスシェアードサービス(株)の設立による共通業務の集約





COMSYS.HD

# ・グループ経営の 事業運営方針

## コムシスHDの目指す方向

---

- (1) 「ワンストップ・ソリューションのトップブランド」を目指す
- (2) 各ステークホルダーから「最良の選択」と評される会社
- (3) グループとして「継続的に増収増益」のできる会社

# 2005年3月期の位置付け

## 【 生産性向上期 】

## 【 業容拡大期 】

各社の強み事業の再編成  
経営資源の再配分

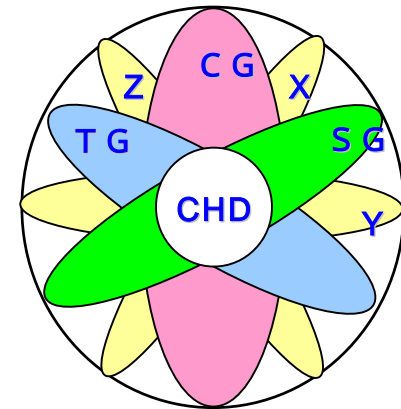
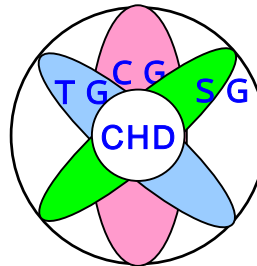
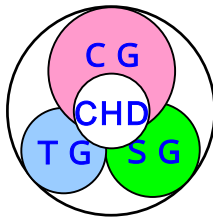
分社、M&A、アライアンス  
による事業領域拡大

設立時

2003.9.29

2004.4 ~

2005 ~



(凡例)

CHD : コムシスホールディングス

CG : コムシスグループ、SG : 三和エレクトックグループ、TG : 東シスグループ

## 経営統合に対する第二期の基本方針

---

一層の効率性の向上と業容拡大を追求する

( 1 ) 更なる財務体質の強化

( 2 ) 経営資源の最適再配置

( 3 ) 業容拡大の為の投資

## ( 1 ) 更なる財務体質の強化

固定資産の減損会計への対応

三和の財務体制の強化

グループファイナンスの拡大

## ( 2 ) 経営資源の最適再配置

Massara Company の実現による最適再配置の推進

業務の移管

ビジネスの再編成

事業会社の再編成

### ( 3 ) 業容拡大の為の投資

ソリューション事業拡大の為の積極的投資

異業種を含めたM & A、アライアンス

人的資源の質の向上

継続的な増収増益を目指す

成熟市場では利益追求、成長市場では受注の確保

( 1 ) 仕事の仕方を変える

( 2 ) ソリューションビジネスの拡大

( 3 ) 社内構造改革の推進



## ( 1 ) 仕事の仕方を変える

現場力の強化 P T

業務プロセス管理の再構築

I T を駆使した経営

## ( 2 ) ソリューションビジネスの拡大

ソリューションビジネスを2005.3期で  
売上の10%にする

コンサルから保守までのビジネスの推進

提案型営業のプロセス管理の再構築と  
コムシスブランドの創出

## ( 3 ) 社内構造改革の推進

総人件費の抑制

業績評価制度の再構築

事業会社とのグループ経営

# 中期経営計画



(単位：億円)

	第1期 参考値 (2004.3期)	第2期 計画値 (2005.3期)	増減率	第3期 計画値 (2006.3期)	増減率
受注高	2,703	2,750	1.7%	2,900	5.5%
売上高	2,761	2,800	1.4%	2,900	3.6%
営業利益(率)	98 (3.5%)	110 (3.9%)	12.2%	140 (4.8%)	27.3%
経常利益(率)	104 (3.8%)	120 (4.3%)	15.4%	140 (4.8%)	16.7%
当期利益(率)	47 (1.7%)	67 (2.4%)	42.6%	70 (2.4%)	4.5%

(注) 第1期(2004.3期)参考値は、通期ベースの3社単純合算値